

GLOBAL
CROSSVALUE
PLATFORM

Marubeni

GC2021

中期経営戦略GC2021の修正

2020.5.7 証券コード：8002

01 経営環境認識

2019年度 業績下方修正

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、原油価格の下落をはじめとした事業環境の悪化を踏まえて保有資産の価値を見直し懸念案件を処理。将来における減損リスクを払拭
- ▲1,975億円の大規模赤字決算（▲4,220億円の一過性要因）
- ネットDEレシオは1.16倍に後退

新型コロナショック

- 人類の動きを全世界レベルで止めるもの。リーマンショック以来、戦後最悪の経済危機に突入
- 人の生活・安全、持続的対社会に対する脅威であり、今後の経済、社会、価値観等に大きな影響を及ぼす可能性
- 医学的なブレークスルーの早期実現は困難。世界景気のV字回復は極めて困難でL字に近い回復に止まり、2021年も緩慢な景気回復に止まる可能性

- 世界各国のグループ社員、顧客・パートナーの安全確保が第一
- 当社の事業活動への影響が長期化することを覚悟し、経営基盤の強化・再構築に徹底的に取り組む

02 GC2021基本方針

財務基盤の再生・強化

- 2019年度的大幅赤字決算を受け、財務基盤の再生・強化を最優先課題としてキャッシュ・フロー重視の経営を徹底
- 3ヶ年累計の株主還元後FCF黒字により債務返済を優先し、2021年度末のネットDEレシオ1.0倍程度へ

事業戦略の強化

- GC2021で掲げる成長戦略の基本方針は変えない
- 既存事業基盤の強化と新たなビジネスモデル創出により中長期的な企業価値向上を追求する
 - コスト削減を含む既存事業の強化・底上げを徹底し、持続的かつ強靱な事業基盤を構築する
 - 新型コロナウイルス収束後の世界経済、社会課題、成長領域、ビジネスモデルの変化を見据え、資産の入れ替え・優良化に取り組む
 - 過去の事業・投資パフォーマンスを総括し、リスクマネジメントの更なる充実・強化を図る

03 株主還元方針

- 連結配当性向25%以上を維持し、各年度における配当金は期初に公表する予想配当金を下限とする現行の配当方針を継続。
- 2020年度の年間配当金は15円/株（中間7.5円/株、期末7.5円/株）とし、これを下限とする。
- 財務基盤の再生・強化を優先し、GC2021期間中の自己株式の取得は実施しない。

将来見通しに関する注意事項： 本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等についてアップデートする義務を負うものではありません。